

第1回 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第1回杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和4年5月10日（火）午前10時00分～11時55分
場 所	神明中学校 体育館
出 席 者	懇談会委員25名（欠席3名）
傍 聴 者	2名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育委員会事務局学校整備担当部長挨拶 3 出席者・事務局紹介 4 進行役選任 5 神明中学校の特色について 6 神明中学校改築の概要について 7 懇談会ニュースの発行について 8 事務局からの連絡事項
資 料	<p>資料1 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会 委員名簿</p> <p>資料2 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会運営要項</p> <p>資料3－1 神明中学校 学校要覧</p> <p>資料3－2 令和4年度 杉並区立神明中学校 学校経営方針</p> <p>資料4 神明中学校の改築について</p> <p>参考資料1 杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）（概要版）</p> <p>参考資料2 杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）</p> <p>参考資料3 懇談会ニュース（中瀬中学校校舎改築）</p> <p>参考資料4 杉並区教育ビジョン2022（概要版）</p>

教育施設計画 推進担当係長	<p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、懇談会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、神明中学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、懇談会委員を快く引き受けてくださいまして、誠にありがとうございます。ただいまから杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会を開催いたします。</p> <p>私は教育委員会事務局学校整備課教育施設計画推進担当係長です。どうぞよろしく願いいたします。進行役を選任させていただくまでの</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>間、会の進行のを務めさせていただきますので、よろしくお願いいたしますします。</p> <p>本日の懇談会ですが、2時間程度とさせていただきます。午後、授業で体育館を使用いたしますので、進行につきましてご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、学校整備担当部長からご挨拶申し上げます。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>皆さん、おはようございます。学校整備担当部長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今日は連休後の大変お忙しい中、またコロナのほうもまだまだ収まっているとは言えない中、多数お集まりいただきまして誠にありがとうございます。万全に感染対策を行わせていただいて、やらせていただいています。今日は少し暖かいのでこうやって体育館を開けてできますけれども、季節によってはなかなか難しいところもございます。その辺はしっかりと気を配りながらやってまいりたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、いよいよ神明中学校校舎改築検討懇談会が始まります。私も教育委員会には長く席を置かせていただいておりますが、この神明中につきましては、具体的に申し上げませんが、様々な思いがございます。この体育館も久しぶりにお邪魔して、入って、昔をちょっと思い出しますけれども、こうやって皆さんと新しい学校をつくる懇談会を開けるのは大変光栄なことだと思っているところでございます。</p> <p>杉並の学校改築の在り方というのは、このように地域の皆さんと懇談会の場を設けまして様々なご意見を頂きながら、この会としての結論を区にいただいて、それを最大限尊重して進めていくといった形式を取ってございます。</p> <p>私も着任以降、桃二小、高円寺学園、富士見丘小・中、杉二小、それから昨年度この懇談会での検討が終わりました中瀬中、様々な区立学校の改築に関わらせていただき、いよいよ神明中というところまで参りました。</p> <p>この神明中の改築でございますが、今申し上げたような学校と少し違うところがございます。昨年、杉並区は「みどり豊かな住まいのみやこ」を旗印に、新しい基本構想を策定いたしました。また、教育委員会としても「みんなの幸せを創る杉並の教育」ということで、新たに「教育ビジョン2022」を作成したところでございます。加えまして、今日の資料</p>

	<p>にもおつけしてございますが、学校整備の分野でも「学校施設整備計画」を新たに改定いたしました。神明中学校の改築につきましては、これらの方向性を皆さんと協議しながら、しっかりと検討を進めてまいりたいと思っております。</p> <p>もちろん学校改築なわけですから、何よりもこの神明中に通う中学生、生徒のことが第一になることは言うまでもございませんが、これを踏まえた上で、例えば学びを通じて地域の拠点となるような学校づくりを目指していきたい。新たな教育ビジョンでも、これからの学校を地域における学びのプラットフォームにしていくんだという方向性もございますが、今日は町会の皆さんも多数お見えですので、こういったことを踏まえた議論が皆さんとできるといいなと思っております。</p> <p>また一方で、学校をはじめとする区立施設の改築を含めた再編整備が区の最優先の課題でございます。学校施設に限らず、築後 60 年を迎える区立施設もたくさんございます。学校でいいますと、本校とほぼ同時並行で井の頭線沿いに行きます西宮中学も近々検討懇談会を立ち上げるわけでございますが、さらにその後も毎年 1 校から 2 校、学校の改築を検討していかなければいけません。学校の改築には、1 校約 40 億円ぐらいかかります。</p> <p>こういった状況の中で持続可能な学校の改築を進めていかなければならないわけですが、こういったお話を昨年度、中瀬中学校の検討懇談会でもさせていただきました。皆さんと未来の神明中に通う子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、新しい学校を創造していきたいと思っております。併せて、このような課題を含めて、皆さんと共有できればなと思っております。</p> <p>いよいよ約 1 年にわたって、この懇談会で新しい神明中をどういうふうにしていこうか、どういう学校がいいかというご意見を皆さんからいただきたいと思っております。長丁場になりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは、事前に送付しました資料と、本日席にお配りしました資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">（配布資料の確認）</p> <p>以上になりますが、お手元がない資料などございますでしょうか。もしありましたら、事務局の者に声がけをいただければと思います。</p> <p>それでは、懇談会を進めるに当たりましてお願いがございます。</p>

	<p>まず、会議は原則公開となります。会議資料や議事録要旨は原則公開となりまして、後日、教育委員会のホームページで掲載いたします。会議記録のため、録音・撮影させていただくことをご了承ください。また、録音する関係で発言するときはマイクをお渡しいたしますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>1つ皆様にお諮りしたいのが、会議録につきまして発言者の氏名を伏せた形で記録をしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「はい」の声あり）</p> <p>ありがとうございます。それでは、会議録につきましては発言者のほうは委員という形で、名前は伏せた形で掲載したいと思います。</p> <p>続きまして、懇談会を傍聴したいと希望される方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることになっておりますので、あらかじめご了承願います。傍聴者は発言ができませんので、ご了承願います。傍聴の方で質問等ありましたら、懇談会終了後、担当に質問していただければと思います。</p> <p>本日、事前のお問合わせで、2名の方が傍聴にいらっしゃるとなっております。</p> <p>また、資料については2回目以降も使用する場合がございますので、お手数ですが、懇談会開催時にはご持参ください。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、今回、資料1で委員名簿をお配りしております。</p> <p>本日の出席状況ですが、2名からご欠席の連絡を頂いております。あと1名、まだお見えになっていないということです。</p> <p>本日は第1回目なので、顔合わせという意味で、まずお1人ずつ簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
	<p>（委員自己紹介）</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>引き続きまして、事務局及び関係職員になります。時間の都合もありますので、こちらは名簿の裏面になりますが、学校整備課と営繕課職員ということで、名簿でもって紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして次第の4番「進行役選任」ということで、本懇談会は学校関係者、町会、自治会、学識経験者と様々な方面から委員としてお集まりいただいております。議事の円滑な進行を担う役割として、</p>

	<p>どなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思います。</p> <p>今までほかの懇談会では、当該校の校長先生に行っていただいております。今回も神明中学校の校長先生に進行役を担っていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(拍手)</p> <p>ありがとうございます。満場一致ということで、これから進行役は校長先生をお願いしたいと思います。</p> <p>では、先生、真ん中のほうにずれていただいております。ここからは校長先生に進行役をお願いいたします。</p>
進行役	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進行してまいります。なお、会の進行上、質問などは本日の議題の最後に時間を取らせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>まず、次第の5「神明中学校の特色について」、神明中学校校長である私からお話しいたします。資料3-1の「学校要覧」、資料3-2の「学校経営方針」を御覧ください。</p> <p>先ほどもお話があったように、地域の皆さん、卒業生がとても多いんですけれども、本校は今年度で75周年です。75年になりました。地域の皆様に支えられて、神明中が育てられたという思いを強く改めて感じました。</p> <p>本校の教育目標は「創造・鍛錬・共生」です。考える力、いろんなことを作り出す、これからの時代にとっても必要な創造。そして、頑張る勉強したりいろんなことに取り組んでいくためには、やはり心身共に、体、体力、その他が強くなければいけません。鍛錬ということも、とても大事だと思います。そして、これから共に生きていくためには共生、思いやりということもとても大事ななと思っています。創造・鍛錬・共生という教育目標のもと、日夜教職員、生徒と共に、生徒の成長を願いながら頑張っています。</p> <p>そして何よりも、本校の生徒は校訓である「自主・自律」ということを本当に意識しています。自分から進んで何かに取り組む、考えて取り組む、そして行動する。最後には、自分で責任を持つ。「立つ」ほうではなくて、「律する」ほうですね。「自主・自律」ということで取り組んでいます。</p> <p>経営方針の中にも、子どもたちの「自主・自律」を育てるための取組をちりばめています。地域、教職員のことを考えて、本校の目指す</p>

学校像は「一人一人が輝く学校」ということで、私は4年目になるんですけども、私が着任して以来、この学校像を目指して取り組んでいます。

意味は「生徒・保護者・地域・教職員のすべての人たちが生き生きと活動し、信頼され信頼できる学校を目指す」と。これは「杉並区教育ビジョン2022」が新しくなりましたが、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」、みんなで支えていく、教え合う、そして次につなげていく、この考え方と同じかなと思っています。

したがって、これからも地域の人に支えられ、保護者の人に支えられ、支えられるばかりではなくて、学校としても教職員力を合わせて生徒の育成に積極的に取り組んでいく。そういうことで、目指す学校像を「一人一人が輝く学校」と設定しています。

そして、本校の重点目標に関しては、1番にはまず地域を大事にしたいということです。そして神明中を認めていただいて、信頼されて、杉並区の中でも珍しいと思うんですけども、5校の小学校から基本的には神明中に来ています。先ほどからちょっとあったように、杉並の特色ある教育ということで、学区域外の生徒も本校に希望することができます。15名なんですけれども。ただ15名に入らなくて、残念ながら来られないという生徒もいます。

改築、建て替えに入りますけれども、先ほども言ったように神明中に行きたいなと地域の方が思えるような学校づくりを、引き続きこれからも頑張っていきたいと思っています。

そのためには、先ほど言ったように「自主・自律」を前面に押し出し、学習では考えさせる。そして、タブレットを使いながら分かる授業を展開し子どもたちに考えさせる、課題解決をさせる、プレゼン能力をつける。いろんなところで生徒たちがしっかり考えられて、発表できる。自信を持って、これから卒業できる。そして、いろんな高校、社会で通用する基本となるものを育てていきたいということで、重点目標を設定しています。目指す学校像は先ほど言った創造・鍛錬・共生に併せて、それぞれ経営方針の中にあるような生徒づくりを目指しながら一応頑張っています。

具体的にはそこに細かなことが書いてあるんですけども、お読みいただければ。時間の関係上、一つ一つの説明はなかなか難しいんですけども、本校の大きな特徴は先ほどから何度も言っているとおり、地域人材を活用できているということです。

これは杉並区の制度がそれぞれの中学校にあるんですけども、学校支援本部、そして学校運営協議会の方の協力により外部人材を活用して、例えばチューター制。授業に入っただいて、勉強の苦手な生徒とかにもちょっとアドバイスをするチューター制。あるいはどうも勉強の仕方が分からない、ここが分からないということに、放課後に「神明塾」と称してフォローしていく。手厚いフォローというか、そういうふうなことを地域人材を生かしながらやっているということも大きな特徴の1つです。

そして、部活動もそうです。先ほど委員から話もありましたけれども、委員を中心に神明クラブということで、学校の部活動を教えてくれる外部人材の人を探しまして、いろんな部活で現在外部指導員の方を中心に、部活動も指導していただいています。バスケットボール部、サッカー部、バトミントン部、あとは杉並区の部活動活性化という事業も生かしながらやらせていただいています。そして文化部も、吹奏楽部も手助けしていただいています。あと、美術部にも手助けをしていただいています。そういうふうに地域の方が本校に入り込んで、子どもたちを支えてくれているという大きな特徴があると思います。

いずれにしても、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」は、本校としては「一人一人が輝く学校」をつくることであると考えています。そのためには地域の力をお借りしながら、そして我々も積極的に頑張りながら生徒の成長を支えていく。

本校の生徒は、本当に自分でよく考えて発表できます。これはやはり地域の小学校の取組を継続して、本校でいろんなことができています。おかげかなと思っています。

これからはICT、タブレットを活用しながらより分かりやすい授業を展開し、さらに子どもたちに深く考えさせ、いろんなことを自分で考えて発表できる、つくり出すことができる、そういうふうな生徒を育てていきたいと思っています。そしていろんな方とコミュニケーションをとりながら、しっかり議論ができる。社会でもしっかり自分の考えを言うことができる。そういうふうな生徒を育てていければと思っています。

この改築、建て替えというのは、大変光栄なことと思っています。繰り返しますけれども建て替え、改築に関してなかなか難しい教育環境になるかも分かりませんが、継続して教育活動ができるよう

	<p>にこの会で話し合っていて、そして地域から信頼できる神明中を目指しながら、引き続きさらに高い目標を持ちながらやっていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ということで、神明中のことをお話しさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事に移ります。</p> <p>次第の6「神明中学校改築の概要について」、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>資料4を使って説明させていただきます。</p> <p>まず表面の下側の1.改築に至る経緯ということで、神明中学校の状況。こちらは主として、建物について記載をしています。</p> <p>昭和22年に開校で、下荻中学校として桃二小の中に開設され、翌年神明中学校と校名改称で、現在の場所に移ります。この前、学校支援本部の方に神明中の記念誌をいただいたんですが、このとき学校に近い生徒が土地を整備されたりとか、そういう記述があり、その頃からいろいろな方が携わったんだということが分かります。</p> <p>昭和34年にこの体育館が建設され、2年後に一番古い校舎が建ち、その後増築を繰り返しております。</p> <p>昭和40年にプールができて、昭和53年に校庭側の鉄筋校舎ができたような形になります。</p> <p>平成21年に校舎耐震補強工事を行っております。</p> <p>改築計画の具体化としましては、昨年度、杉並区実行計画によりまして改築事業が計画され、その際、神明中CSに情報提供をさせていただきました。今年度、懇談会を設置して、基本設計を策定する予定です。</p> <p>裏面をご覧ください。</p> <p>2番の神明中の概要ということで、まず生徒数・学級数の推移は令和4年度、4月の速報値では276名の9学級。当面、9学級が継続というような状況です。また、今後新しい推計が出ましたら、情報提供をしてまいりたいと考えております。</p> <p>施設規模につきましては、御覧のとおりです。先ほど体育館が狭いという話がありましたが、確かに少し小さ目なサイズとなっております。</p> <p>下のほうの3.杉並区立学校施設整備計画についてということで、参考資料1、参考資料2の要約としてこちらのほうに記載させていただきます。</p>

きました。

まず、杉並区の学校施設の状況としましては、区立小学校のうち、築50年以上の建物を有する学校が35校で、全体の55%になっております。

また、昭和50年代をピークに減少傾向にありました児童・生徒数は近年増加傾向にございますが、中長期的な視点で見ると人口減少が予想されておりまして、今後の改築に当たっては、生徒数の減少を見据えた柔軟性のある施設づくりが求められているところです。

今回、学びの場にとどまらず、地域コミュニティの核として学校施設を活用することが求められております。今回の「杉並区教育ビジョン2022」でも、学びのプラットフォームという形で学校は位置付けられているところです。

今後更新時期を迎える学校施設の老朽化に的確に対応するために、施設の長寿命化あるいは長く使えるようにすることによって有効活用していくことと、年度毎に平準化を図った改築計画が必要ということで、令和3年3月にこちらの計画が改訂されたものです。

2枚目に行っていただきまして、学校施設の目指すべき姿ということで、こちらは施設整備計画からの抜粋になります。

まず(1)として将来を見据えた教育環境の確保ということで、5点ございます。1点目は、安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備。2点目が、多様な教育に対応できる学習環境の整備。3点目が、地域の拠点となる開かれた学校づくり。4点目として、将来転用可能な柔軟性のある施設づくり。5点目で、環境に優しい施設づくりということで、近年SDGsなどの流れもありますのでそういったことがあります。

ただ、(2)としまして学校施設の標準規模ということで、改築規模の見直しによる一定のスリム化への取組。近年、改築校の規模がかなり大きくなることがありましたので、そのあたりの一定の見直しを行ったところです。

その一方で、地域の核になる施設ということですので、適切な施設規模は確保する必要があるという点。

3点目は学校ごとにプールを造っておりますが、そういった在り方についても多方面から検討を反映したほうがいいのではないかということに記載しているところです。

4番目の改築検討における主な視点ということで、今回、神明中の

改築に向けてになります。

まず1点目が、将来の生徒数の変化を見込んだ施設づくりが必要になるということです。

2点目として、さらに防災機能の充実であるとか、地域に開かれた学校づくりが必要になります。

3点目は先ほど学校整備担当部長から話がありましたが、今後も年1～2校ペースで改築が想定されますので、コスト面等を含む総合的な視点での施設づくりが求められているところです。

また、これまでの改築につきましては大体50年から60年を改築時期としていましたが、これからは築80年を目指した長寿命化に基づく改築にしていくというふうになっております。

5番目は繰り返しになりますが、施設再編計画と学校施設整備計画に「プールのあり方について、今後多方面から検討していく予定」という記載がありますので、今回も検討は必要と考えております。

次に、神明中につきましては校地が非常に不整形で、第一種低層住居専用地域での建築基準では改築に制約があります。1枚目に戻っていただいて、下のほうに図があります。「現校舎による日影規制の概ねの不適格イメージ」ということで、当時は法律を満たしていましたが、建築基準法が法改正されていくなかで、現在の基準では不適格ということになっています。今の校舎、南側に4階建てがありますが、同じ位置で同じ高さのものを建てることはできないというイメージ図をこちらに描いてございます。

資料を戻っていただきまして2ページ目の一番下になります。懇談会での皆様のご意見を踏まえた上で、今後改築の検討を進めていきたいというところでございます。

2ページ目の最後です。懇談会の開催予定ということで、本日は第1回目。第2回目は、6月に改築基本方針の話をする予定です。こちらは改築に当たってのコンセプトなど、皆様からご意見を頂くようになります。

第3回は施設見学ということで、現在、夏休み中の期間で調整をさせていただいているところですが、コロナの状況などもあって、受入れ先等の課題もありますので、またこちらについては随時情報提供させていただければと思います。

第4回以降、改築基本方針と校舎配置ということで、校舎配置の議論というのは敷地のどの位置に校舎を配置したらいいかというような

	<p>ことについて、皆さんからご意見を頂く形になります。その際、工事工程案についてもお話をさせていただく予定です。</p> <p>第6回ぐらいから、配置が決まると平面計画とあって、何階にどういった部屋を設けたらいいかというようなお話を2回程度でしていくことになります。</p> <p>ある程度まとまった段階で、地域の方と保護者の方それぞれに中間の検討状況についてご説明をさせていただきます。保護者につきましては、保護者会にお邪魔させていただくのか、説明会のような形でさせていただくかは学校と相談した上で、進めていただきたいと考えております。</p> <p>第8回以降は懇談会のまとめ骨子、第9回に懇談会まとめということで、基本設計がまとまる形になります。</p> <p>今回、改築懇談会に当たりまして、設計事務所も入って進めてまいります。現在入札中ですので、決まり次第懇談会に参加させていただきますのでご了承願います。5月中旬から下旬に決まると伺っているところです。</p> <p>最後6番目の改築想定スケジュールということで、まず今年度、4年度に基本設計と言って、校舎配置や平面計画等といったことを行います。それに並行して、測量・地盤調査などを行います。</p> <p>5年度になりますと、実施設計と言って、詳細な設計を進めていきます。必要があれば仮設校舎建設、あと建物解体工事が5年度末ぐらいから始まりまして、大体6年度の後半ぐらいから新校舎の建設が2年程度となっております。その後、環境整備工事といたしまして、校庭等の整備工事が入ります。</p> <p>ただし、この想定スケジュールはこれまでの改築校の一般的なスケジュールですので、敷地条件や校舎配置プラン、工事範囲などによって工期は変更いたします。その辺は議論を進めていく中で、随時情報提供させていただきたいと考えております。</p> <p>資料の説明は以上です。</p>
進行役	<p>事務局から、区として改築における基本的な考え方や、懇談会の予定などについて説明がありました。</p> <p>本日の資料について、感想や質問などを委員の皆様から頂ければと思います。本日は簡潔に、お一言ずつとさせていただきます。そのため、十分ご発言できなかった部分につきましては、席上に配付のご感想シートにご記入の上、事務局へご提出ください。後日、事務局から</p>

	<p>皆さんに共有できるようにしたいと思います。</p> <p>皆様からお一言ずつ頂きたいのですが、校舎改築検討懇談会ですので、生徒たちが過ごしていく学校の改築に限定させていただきます。よろしくお願いいたします。特にないようでしたら、「特にありません」ということでも結構です。</p> <p>では、席順に沿って、学識の先生には最後にご講評いただきますので、委員から時計回りということをお願いいたします。</p>
委員	<p>よろしくお願いたします。検討懇談会ということでいろいろご説明がありました。本当に楽しみにこれからの懇談会に参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。</p>
委員	<p>これから話を重ねて、皆さんとよりよい学校をつくっていかたいなと思っております。</p>
委員	<p>実際にこの校舎を使っている子どもたちが、今の学校についてどう思っているのかというのを少し聞きたいなと思っておりました。以上です。</p>
委員	<p>私もとても改築が楽しみになりましたので、これからも参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>これから話を煮詰めていくので今の段階では特にないですが、不適合の校舎が建てられない場所があるということで、どこにどう建てて、学びの場も確保しながらというのを難しいなと思っておりますので、この場でいろいろ検討できればと思っております。</p>
委員	<p>現段階では特にございません。</p>
委員	<p>大きな意見というのはないですけれども、「改築検討における主な視点」の中で、生徒数の変化とか防災機能の充実ということが書かれています。例えば区として、将来の生徒数の変化をどう見ているのかというのを伺いたいなと思っておりました。</p> <p>それから、防災機能の充実は言葉の上では何となく分かるのですけれども、具体的にどういうことを意識した上でこういうことが定義されているのかを知りたいと思っておりました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局のほうでご回答をお願いできますか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>生徒数の変化につきましては、参考資料2の9ページを御覧ください。上のほうは小中学校の児童・生徒数の推移と推計ということで、今、令和4年度なので、少しずつ増えているような状況で推計が出ていま</p>

	<p>す。令和9年頃をピークに、令和12年頃まで微増程度ということで推計としては出ています。</p> <p>その後、下の段になるんですが、黄緑色の棒グラフが年少人口ということで、徐々に減っていくということが将来人口推計からは出ていているところになります。</p> <p>今から10年後ぐらいまでは学務課で生徒数の推計を出しているところですが、今出ているところでは、直近10年ぐらいですと9クラス前後は維持されているというような推計を頂いているところです。推計については以上です。</p> <p>防災機能の充実という点につきましては、同じ参考資料2の15ページを御覧ください。「地域の拠点となる開かれた学校づくり」の【事例】の黒点2個目に、防災の拠点(避難所)としての機能強化ということで、まず校舎の耐震性能の向上、あと非常用電源の確保、マンホールトイレの整備、防災備蓄倉庫の整備等ということで記載があります。</p> <p>今マンホールトイレですと、敷地内に大体5～10程度設けております。あと非常用電源の確保ということで、全教室ではないですけども、主要な部屋は72時間程度使える規模の非常用電源を確保したり、あと太陽光発電なども設置しまして、省エネ部分で防災拠点としての機能強化を図っているところになります。以上です。</p>
学校整備担当部長	<p>防災について、補足させてもらいます。</p> <p>今、係長が言ったように、これからの防災に向けて備えなければいけないものをしっかりつけていくことは当然なんですけれども、せっかく学校を新しくゼロからつくるわけですから、使いやすい構造にしないはいけません。</p> <p>例えば体育館に逃げ込んできたときに、いろんな設備や倉庫が近くにあるだとか、ゼロからつくるからどういう防災機能を備えていけばいいのかということが多角的に考えられるわけなので、そこはぜひ皆さんからもお知恵を頂きたいと思っています。</p> <p>それから、南荻窪の地域に求められ防災は何なのか。例えば高円寺とここでは全然違うと思うんですよ。そういったことも皆さんからいろいろと議論いただきながら、進めていくべきではないかと思っています。</p>
進行役	委員、よろしいでしょうか。
委員	結構です。ありがとうございます。
進行役	それでは、委員、お願いします。
委員	私は仕事柄、幾つか学校を回っているんですが、10数校を今年も回

	<p>ってきました。実際に学校の資が高まってくると、児童数、生徒数が増えている学校が多いです。</p> <p>それがどういう状況を起こしているかというと、新しい学校などは、オープンスペースを教室化する、今まで共用で使っていたところを教室化する。そこを新しい教室にしたり、今、学校では少人数授業をやっていますが、少人数授業をやる教室を一般教室化する。つまり、児童・生徒数が減少するという方面だけではなくて、学校の立場からすると、学校教育の質が高まれば児童・生徒数は増えるという選択も、可能性もあるということです。</p> <p>こういったことに関連して、例えばこの地域の中での拠点となる学校とすれば、まちの方たちとの関わり合いが常に保たれるような学校をつくると、複合施設とは言わないですけども、それに近いようなまちの方と共用できるスペースがあってもおかしくないと思います。</p> <p>こういったときの大きなプラン、築 80 年というから 80 年も先のことは分からないけれども、少なくともここ 10 年、20 年に向けての弾力的な計画の可能性というのはおありなんでしょうか。以上です。</p>
進行役	事務局、お願いします。
学校整備担当 課長	<p>これまで特に小学校でオープンスペースの学校、いわゆる従来の片廊下式の学校建築からオープンスペースを取り入れたもの、新しくはないのですけれども、従来のものに比べて新しい学校建築というのをずっとこのところ採用してきましたが、改築において減っていた児童・生徒数が逆に増えてくると。それは改築校だけではなくて、広く見てみると、全般的にここでまた児童・生徒数が増えてきているんですね。</p> <p>それに対応するようにオープンスペースを教室にしたり、共用教室だったところを教室にして対応してきたんですけども、それでも賄い切れないぐらい多くの児童が集まってきている学校もあります。</p> <p>そういうことに対応できるように柔軟性のある施設づくりということで、具体的にいいますと多目的室、教室 2 室で 1 室ぐらいのところではふだんは大きく使っているけれども、子どもたちが増えたらそこを教室にしていくかと、すごく長期に見ると、20 年、30 年、子どもがさらに減ったときには、またそういうところを地域で使える共用のスペースにしたりとか、そこが柔軟性のある施設づくりということなんですけれども、そういうことで 50 年、70 年、80 年の使用に耐え得る施設づくりをしていこうという考え方です。</p>
進行役	よろしいですか。

委員	ありがとうございます。
進行役	それでは、委員、お願いします。
委員	一番気になるのは、校地の形に伴った制限がいろいろあるということで、こちらの思い描くような校舎が建てられるのかなということだけがちょっと不安です。
学校整備担当 課長	<p>これも先ほどの資料4の1枚目のところを見ていただくと、校地がちょうど長靴のようになっています。特に4階建ての校舎が建っているところは、北側が神社とはいえ、これは普通隣地と同じで、そこには日影規制が現在かかっていますから、ピンク色のところは日影が不適合なところなんです。こういうピンクの部分が発生しないような高さとか配置にしなければいけないので、イメージとしていうと、校舎4階と書いてあるあたりは通常でいえば2階建てぐらい、あるいは2.5階ぐらいの高さしか建てられません。</p> <p>一方で、建て替え中に、学校運営を適切にやっていかなければいけない。そこで大きな支障のあるような学校運営はできませんから、校庭のところにプレハブを造るのか、どういうふうにして建て替え部分と学校運営の部分とうまく調整していくかとか、ここが本当に一番大きな課題の1つと思っています。そこは皆さんと話し合いながら、どのぐらいのところ折り合いをつけるかということが大きな課題かなと思っています。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>私が一番興味があるのは、特に神明中学校の共生という教育目標のところだと思います。先生と生徒さんの安心・安全とかは割と絡むテーマなのかなと思うんですけども、地域人材が入ってきたり多様な人が入ってくる中で、生徒さんたちとか学校運営というか、授業とのバランスのとり方みたいなものがハードの面からもできたらいいと思います。</p> <p>そういうところのアイデアというか、区としてはこうしていきたいみたいなものがあるのでしょうか。</p>
学校整備担当 課長	<p>まさに地域に開かれた学校づくりということで、ハードの面できっちり分かれるのが安全で明確でいいという考え方と、一方でせつかく地域に開かれるんだから、もっとお互いが行ったり来たりできる緩やかな形がいいという両方の考え方があります。</p> <p>ただ一方で、何か大きな事故とか事件があるとやっぱりもっとガードを固くということで、それが行き過ぎるとせつかく地域に開かれた学校が開かれなくなる。</p>

	<p>そこの難しさというのがどうしてもせめぎ合いになりますので、これも今後皆さんと意見を交わしながら、どの程度のところでどういうつくりがいいのかというのを導いていけたらいいのかなと思っています。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、委員、お願いします。</p>
委員	<p>中長期的には、学校が教育だけのためにあるのはなかなか難しいと思います。要するにサステナブルとか、予算のこともありますよね。</p> <p>1つは防災という話が出ましたけれども、例えば最近知ったんですが、核シェルターが日本にはほとんどなくて、世界にはあります。スイスはほとんど100%の人が退避できる核シェルターを持っている。アメリカでも80%ぐらい。それに対して、日本はあまりにも防災とか、そういうものに対して準備がされていない。核シェルターは日本では非現実的かもしれませんが、いつ地震が来てもおかしくないわけです。そういうことにも対応できる学校にしていただければと思います。繰り返しになりますけれども、やはりある意味で多目的な必要があるのかと思います。</p> <p>それで、1つ質問です。「プールのあり方について、今後多方面から検討」とありますけれども、これはやはり敷地の関係でプールを造れないということが頭にあるからということでしょうか。</p>
進行役	<p>事務局、お願いします。</p>
学校整備担当 課長	<p>プールにつきましては、今この神明中でどうこうというよりも、整備計画あるいは再編計画の中で取り上げているのは、近年23区でもそうですし、都内隣接の市部でも、あるいは全国的に見ても、プール授業を公営の温水プールだったり、民間の温水プールを利用してやるケースがあります。</p> <p>それには大きく言って、2つぐらいの動機があり、プールが老朽化して建て替えるコスト。建て替えても、プールは、夏の2か月間ぐらいしか使わない。もう1つは、プールの水質だとかプール管理が結構教職員の皆さんの負担になっていること。あるいは温暖化で、猛暑で、夏の暑いときに暑過ぎて、水温と気温が高過ぎてなかなかできない。</p> <p>そういったところで温水プールを利用してやっていこうという中では、プールをあえて造らなくてもいいのではないかと、ほかに転換してもいいんじゃないかと。</p> <p>この神明中に当てはめると、例えば先ほどから出ているこの体育館は、普通の中学校でいうと、最近の学校は大体1.5倍ぐらい広いんです</p>

	<p>ね。ここに 1.5 倍の体育館を造ろうとすると、プールがそこに入らない。そうするとそのプールをどこに造るのか、あるいは場合によってはどこかでできたほうが学校としては総合的にいいのかとか、そういう検討をやはり皆さんとお話し合いしていきたいと思います。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。 それでは、委員、お願いします。</p>
委員	<p>皆さんのお話を聞いていると、話し合うことがすごくいっぱいあるんだなと思ひまして、1年で建て直しをするんだなという感想です。 私としては、障害があるお子さんのためにもバリアフリー化を進めていただけたらうれしいと思います。</p>
進行役	<p>今のはよろしいですか。</p>
学校整備担当 課長	<p>学校施設整備計画の15ページのちょうど真ん中ぐらいのところに、ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりということで、設備面でいうと多機能トイレだとかスロープ、手すり、エレベーターの設置は標準になっています。 少し前までは校舎内に1つ多機能トイレがあればというところだったんですけども、特に最近ではやはりバリアフリー法の強化などもあって、もっと校舎の棟ごとに2つだとか、あるいは（多機能トイレを設ける）階数も少し増やすとか、そういった機能強化も進めているところですので、そういったお考えに少しずも近づけたらいいと思っています。</p>
委員	<p>よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。 では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>改築となると、どうしても新しい学校のほうに目が行くと思うんですけども、工事中の中でもせっかく神明中を選んでくれた生徒さんや保護者の方に、ぜひご不自由のないように過ごしていただきたいと思ひます。 給食の問題だとか改築中の運動場、クラブ活動とか、どのようなお考えがあるかをお聞きしたいです。</p>
進行役	<p>それでは、事務局、お願いいたします。</p>
学校設備担当 部長	<p>ありがとうございます。どうしてもこういう改築検討懇談会を開くと、やっぱり10年先、20年先、50年先の子どものことというふうに目が行くんです。それは当然なんです。 けれども、今、委員がおっしゃったように、改築にぶつかった子ども</p>

	<p>たちの3年間って、本当に言うと、それで終わりになってしまうのですね。唯一無二なんです。そういった本当にぶつかってしまった子どもたちのことを、10年先、20年先の子どもの同じように考えていくべきだと思っています。</p> <p>ただ、どうしても校庭に仮設を建てたり、今、中瀬中もそうなんですけれども、これから建てるんです。やっぱりスポーツできるスペースが、特に中学生ですから少なくなったとか、音もするとか、そういったことのハンディをなるべく感じさせないようにしたいと考えております。</p> <p>例えば校庭でいえば、ちょうど中瀬中はこれから校庭が少なくなってしまうので、近くの小学校の校庭を借りたりとか、そういった代替の校庭についての工面をしっかりと教育委員会でさせていただくとか、できる限りハンディのないようにしていきたいと。工事になっても、この神明を選んでくれた親御さんの期待に応えなければいけないという思いで、今はいるところです。よろしいでしょうか。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、委員、お願いします。</p>
委員	<p>ご説明いただいた内容について、特に今現在、質問等はありません。</p>
委員	<p>校舎の解体、それから新しく建てるとなりますと、騒音、振動が結構地域の皆さんのご迷惑になるかと思えます。そういうところを配慮した解体、特に基礎工事には気をつけていただければと思います。</p>
委員	<p>校舎が新しくなると生徒が増えるということもありますので、少し余裕を持って皆さんが使えるようにというのは、荻窪小学校で散々見えていますので、そんなところを考えていったらいいかなと思います。</p> <p>それから、プレハブで校庭に仮校舎を造り、生徒が全部入れるだけのものが、校庭で大丈夫なんですよ。それで一旦ここの今の古い建物を全部壊すということです。そうすると、本当に遊ぶところとか、校庭がなくなるわけですから、そこら辺はやはり近隣で借りられるとか、ちょっと考えていかないと子どもたちがかわいそうかなと思います。</p>
進行役	<p>どうでしょうか、今のご意見は。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>第4回以降、校舎の配置を検討する際に工事中どういう仮設計画なのかを皆様に提示して、ご意見を頂きながら進めていきたいと考えております。その中で収まらないということがあれば、何らか考えるということになるかと思えます。</p>

	以上です。
進行役	よろしいですか。 では、委員、お願いします。
委員	<p>今までほかの学校でもいろいろ新校舎を建てられて、すごくよかった面と、こういうところはこうしたらよかったなという面がいっぱい出ていると思います。そういうことがちゃんと生かされて、地域の特別支援児たちも地域の中で育っていけるような配慮がされている学校になっていってこれればいいなと思っています。</p> <p>あと便利な物がいっぱいできているので、あまり便利過ぎない、それが使えなくなったときもちゃんと機能するような学校になってくれればいいなと思います。</p>
進行役	ありがとうございます。
委員	今のところ、特にありません。
進行役	よろしいですか。
委員	はい、結構です。
進行役	委員、お願いします。
委員	<p>特に今日の説明で質問ということではありませんが、今まで皆さんのお話を聞いていたとおり、やはり神明は皆さんご存じのとおり面白い形をしております。</p> <p>これがまた第一種低層住居専用地域でもあるということや、プールの考え方ですね。それをどうやって皆さんでまとめていくかということをお話をしていただきました。</p> <p>町会としては、やはり建て直しとなると、周りに住んでいる地域の皆様はかなりご迷惑をおかけするというのは事実でございます。その辺りの周知についてに関しましては、今、書面でのアンケートで書かせていただいて返答を頂きたいと思っておりますので、今回は結構です。</p>
委員	<p>これについては町内会なものですから、町内会から学校を見るという格好になると思います。学校というのは、どちらかというと子どもがいるうちは学校なんだけれども、子どもが卒業するとほとんど関係なくなっちゃうという関係の地域だと思います。ですから、さきほど校長もおっしゃいましたが、地域とのコミュニケーションとしてはなかなか難しいんですね。一部の方は学校支援本部で関わっていらっしゃいますけれども、ほとんどの方は学校なんて子どもが卒業したら、あとはほとんど分からない状態。</p> <p>そういう中で「地域とのコミュニケーションを」とおっしゃっていた</p>

	<p>だいていますので、桃二小学校の新しい校舎には外部から出入りできる教室があるんですね。これはとても使いやすいということで、そんなふうなこともあるし、あるいは荻窪小学校の防災倉庫は地下にあって、ここからどうやって物を上げるんだというようなこともあるので、その辺も含めてお考えいただければと思います。</p> <p>それから、以前、防災訓練のときに、レスキュー隊に参加していただいて具体的な防災訓練をやったんですね。そういう行動こそが、子どもたちと地域とが触れ合う場所だと思います。建屋だけの問題ではなくてやっぱり運営だと思います。</p> <p>回答は要りませんから、そういうふうなものを考えていただける学校であればいいなと思っています。</p>
進行役	ありがとうございます。
委員	<p>今、委員からお話がありましたが、私もその意見でいろいろやっていただければと思っています。</p> <p>ただ工事中の生徒さんの負担、それから仮設校舎等建ててやるのかどうかということなんですけれども、1つの私の考えとしては、いま若杉小学校が廃校になりまして、空いているはずなんですね。そこを利用させていただいて、通学には生徒さんたちの負担がちょっとあるかもしれませんが、それで一気に建てるという考えがあってもいいんじゃないかと思っています。ぜひそういうところも考えていただきたいと思います。以上です。</p>
進行役	事務局からよろしいですか。
学校整備担当 課長	<p>先ほどの改築資料の1枚目のところを見ていただくと、校庭の部分があって、仮設のプレハブを建てるとするとここだけでも、工事で大体今までの校舎よりも大きくなるのが普通なので、この校庭の部分全部をプレハブに使うわけにもいかないのが現状です。その中で、教育環境をできるだけ損なわないようにしっかりしたものをとると、それは難しい。先ほども申しあげましたけれども、本当にそこが難しさの大きなところなんです。</p> <p>一方で、今ご提案があったようなどこか近傍に、学校運営に支障がないところでここというのがあれば、おっしゃるとおり本当に一気に建て替えて、短期でいいつくりができるかなと思うんですけれども、なかなかそこは用地の問題だとか、ご提案があったところも現状、廃校になったけれども、まだ保育園で使っているんですね。なので、そういうことも含めて、何か可能性があったらぜひ検討できればと思います。</p>

委員	<p>桃井第二小学校の建て替えのときに、若杉小学校のプールを利用させていただいたんですね。</p>
学校整備担当 課長	<p>そうですね。プールは学校のプレハブから通って使いましたね。そう いったこともあるかと思います。</p>
進行役	<p>よろしいですか。 それでは、委員、お願いします。</p>
委員	<p>お世話になります。私の率直な感想だけで、特に質問はないのですが、 桃井第二小学校の新しい校舎で、支援本部等でお世話になっております。 そこでもいろんなことが出来上ってから起こることがあるので、これ から神明中も校舎配置のことをみんなで一生懸命考えて決めるんです けれども、いろんなことが起きてくるなというのは、施設的なことは 思います。</p> <p>先ほどプールのお話もありましたが、屋上の一番高いところに造った プールに予想だにしないカモが来たとか、いろんなことがあるような ので、ほかの施設的なことも水はけとか、いろんなことも出てくると思 いますが、それは工事の方のほうにお願いしますと思います。</p> <p>また、子どもたちは非常に順応性が高いので改築中も元気で、またき れいになっても元気で、みんなやっていくと思って、年をとった私たち のほうがついていけないだけで、子どもたちは元気に過ごしてくれれば 何よりだなと思っています。これからもよろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。 それでは、先生、お願いします。</p>
委員	<p>感想的なことになるかと思いますけれども、改築を非常に楽しみにし ているという声は何名かの方からありました。私も非常に楽しみにして いるところがあります。</p> <p>学校改築というのは、将来に向かっての夢とか希望とか、なるべくよ りよい形でということがメインになってくるので、そういうわくわく感 もあるんですけれども、一方でいろんな制約や条件がつくのも当然のこ とです。その中でどういうふうに折り合いをつけていくのかということ が、この懇談会の中の役割かと思います。</p> <p>そうしたことを踏まえながらも、それぞれの委員の方々の夢だとか 希望をどんどん語っていただいたり、あるいは懸念しているようなこ とを率直に出し合って議論していくことが、結果的にいい学校づくりにつ ながると思います。</p> <p>先ほど核シェルターという話が出て、私も一瞬「えっ？」と思ったん</p>

	<p>ですけれども、今の例えば世界情勢ですとか、昨今の大変な自然災害等を考えると、地域の方々の身の安全ということもそうですし、学校にいる子どもたちの安全をどういうふうに確保していくのかという観点から、決して非現実的なことではなくて、いろいろ検討していく要素はあるのではないかと感じました。</p> <p>それからプールのこと、この敷地が非常に変形でということも、これからの議論の中で難しい条件の1つになっていくのかなと思います。</p> <p>「プールのあり方について多方面から検討」と出ているということは、プール設置の有無を含めてということかなと私は理解しているところですが、その辺も含めて今後率直にいろんな意見を出しながら、よりよい方向を探っていければいいのかなと感じました。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、先生、お願いします。</p>
委員	<p>皆さんから大変貴重な思いや問題点、質問、コメント、本当に夢と問題点と両方かなり出てきたと思うんですね。</p> <p>私はちゃんと訪ねて拝見するのは初めてなんですが、事務局からご説明を受けて来たんですけども、このプラン、配置とか立地とか、この図を拝見してもあるいは現地を訪ねても、このような変則的な学校は初めて見ました。全国でも非常に貴重な例じゃないかと思います。だからこそ難しい。本当に難しそうです。</p> <p>もう1つ、特徴の1つは神社とくっついているというか、隣り合わせになっている。これは恐らく必然性というか、ここに意味があるんだろうと思うんですね。これはメリットにもなるんじゃないかと。</p> <p>実は、私は杉二の改築懇談会に入っていたわけですが、あそこも目の前に熊野神社がありまして、杉並第一小学校は阿佐ヶ谷神明の近くにあって、いずれも意味があるんだと思います。つまり杉並第一小学校は阿佐ヶ谷神明の近くに大地主さんがいらっやって、杉並区の中世からの中心なんですよ。そこに結果的に駅もできるんですけども、その土地を多分いい形で公共側が取得して、小学校をつくられたんだと思います。だから、精神的にも歴史的にもまさに杉並の中心なんですよ。杉二も第二小学校なので非常に価値のあるところで、台地の上に、発掘で縄文の遺跡も出てきたんですね。</p> <p>ここも名門神明中学なので、何かそういう歴史的背景とか文化的コンテキストがあって、ここに中学校が開校され、こういう校舎、敷地ができていったと思います。だから、いろんな経緯で複雑なこういう敷地に</p>

なっていると。このデメリット、だけどメリットもあるので、大いに生かしたらすごくユニークな学校にもう1回つくり直せるんじゃないかということを感じました。

確かにこの厳しい状況で、北側に日影を落とせないということですから、校舎の4階のところは建て替えが低層にならざるを得ないとか、あるいは今空いているところに目いっぱい新しい校舎を建てるとか、仮設校舎は本当に造りにくい。その段取りというか、建て替えのプログラムが本当に難しい中で、知恵を発揮する必要があると。だけど、これは知恵の発揮のしようがいろいろあると思います。

問題は、さっき空いている小学校があるので、いっそのことそこへ仮設として全部移してしまうことはできないかというようなアイデアもありました。あと皆さんご心配の中で、校庭がなくなっちゃうというのは子どもたちにとっては命取りになるんですよ。

杉二の場合は6年間通う学校なので、まだ残り3年はエンジョイできるということがあるけれども、ここは3年もろにかぶった場合はその期間が犠牲になっちゃうので、本当に真剣にこの問題は考えないといけないと思います。

ほかの小学校や中学校の校庭を借りるとか、あるいは公立のいろんな施設のオープンスペースを借りるとか、何とか工夫して、いい形にしてほしいということですね。

それと皆さんのご意見の中にいっぱいありましたけれども、地域とのつながりがもともと神明中学校のいろんな意味での財産である、実績であるというすばらしいお話を校長先生からも伺いました。本当に開いていくのか、だけどセキュリティーの問題をどうするのかというのは、これまた本当に知恵の出しようで、いろんな意味で今まで実現されている杉並区、東京、全国あるいは世界でもいいかもしれないですが、そういう事例をやはり学ぶということが非常に重要です。この際、みんなで学び合うというようなプログラムをどうやってこの懇談会でセットしていくかというのは、大変重要だと思います。見学会が想定されていますが、この点もぜひお考えいただきたいと思います。

それから、子どもの声を聞きたいというのは非常にすてきなお話ですけども、先生方の声、実際に教えていらっしゃる先生方がどう思われているのかということも非常に重要です。杉二の場合は大分聞きましたよね。今回どういうふうになそれがこの懇談会で組み込まれているのかというの、重要なポイントかと思っています。

	<p>それから、委員から大変重要なことを伺ったような気がします。便利過ぎないというのは、非常に重要かと思います。つまり、今の価値観だけで便利だったり効率がよいと考えて造ると、すぐ行き詰まる。生徒数が減るのか増えるのかということもそうだし、設備の関係でもどんどん革新されていくことにどう応じるかと。</p> <p>翻って欧米、アメリカも含めて、小学校、中学校で古い建物を使っている例は多いんですよね。何百年も前の建物はイタリア、フランスでは当たり前。イギリスでもそうだと思いますが、使っているわけですね。価値があるんですよ。格好いいんです。いつの時代にも快適に、創造的に使っておられる。そういう姿勢がこれから日本の中で重要じゃないかと思うので、今の価値観だけで便利だとか効率がいいというのは、逆に魅力がなくなるんじゃないかというふうに思います。発想の転換が必要かと思います。</p> <p>核シェルターの話がありましたけれども、確かに防災は非常に重要で、東京都にとって、日本の都市にとって最大の問題なので、これも真剣に大きなテーマだと。その場合、隣に神社があるということも緑地帯があるので。神社というのは日本の行政の中でどういうふうに扱うか、非常に難しい問題かもしれないんですけども、緑とか環境とかオープンスペースということになると非常に重要です。木がたくさんあることによって延焼が避けられるという面もあるわけですし、そこも含めて総合的に検討する必要があると思います。</p> <p>それとこの土地の価値、魅力というのを皆さんで勉強し合うと。この土地の歴史を子どもたちと一緒に学び合う。改築というのは子どもが学ぶ非常に重要なモーメントであるということも、前向きの要素の1つかなと思います。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様からご意見を頂くことができました。ありがとうございます。</p> <p>それでは、次に次第7の「懇談会ニュースの発行について」、事務局から資料の説明をしてください。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>参考資料3の「中瀬中学校校舎改築ニュース」を御覧ください。</p> <p>これまで改築校では、改築に当たりまして近隣住民や保護者の方にこういったニュースを配付して、情報提供を行っております。中瀬中においては令和2年、令和3年度にニュースを4回発行しております。本懇談会においても節目節目に随時発行して、情報提供してまいりたいと考</p>

	<p>えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
進行役	<p>それでは、事務局から連絡事項をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>長い時間、ご議論をありがとうございます。第1回ですけれども、本 当に示唆的なご意見をいただきましたので、今後反映していきたいと思 います。</p> <p>事務連絡ですが、4点あります。</p> <p>まず1点目が、本日の会議録についてです。主に1か月程度をめぐり、 皆様に議事録の案をお送りいたしますので、ご確認いただき、修正が あればご連絡をお願いいたします。懇談会の資料と議事録については、 先ほど申し上げましたが、教育委員会のホームページに掲載してまいり ますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2点目が、机の上に配付させていただきましたご感想シート、アンケー トについてです。表のご感想シートについては、今日一言ずつ皆様から お話しいただきましたが、十分な時間が設けられませんでしたので、そ の部分について何かほかにお伝えしたいことがありましたら、ご記入を お願いいたします。</p> <p>裏面のアンケートについてご説明いたします。第2回では、神明中学 校の改築基本方針についてご意見を頂く予定です。改築基本方針です が、委員の皆様を含めて改築についての共通イメージを共有していくた めに作成しております。設計の概略になります基本設計に生かしてい きます。こちらのアンケートですが、改築基本方針の参考とさせていた だきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、改築基本方針というのはどういうものかというところですが、 先ほどご説明させていただいた参考資料3の中瀬中の懇談会ニュース の中ほどに「改築基本方針（たたき台）」というものがあつて、こ ういったものを作る予定ですのでご参照いただくと幸いです。</p> <p>もし懇談会中に既に記載が終わった方については、後ほど入り口で係 員のほうにお渡しください。記載が終わらなかった場合は、机の上におい てあります返信用封筒に入れていただき、5月24日までに返信をお 願いいたします。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>3点目です。第2回の懇談会の日程なんです、今候補としましては 事前の調整で、6月24日（金）の午後ということで調整させていただ いているところです。こちらは決まりましたら、改めて通知を送らせて いただきますので、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>第3回については、今のところ7月22日か7月25日で調整しているところなのですが、先方の受け入れが可能かどうか等もありますので、こちらについては改めてご連絡させていただきます。</p> <p>最後になりますが、事前に通知した口座振替依頼書を入り口でお渡しいただいている方もいらっしゃると思いますが、もしまだお持ちの方がいらっしゃいましたら係のほうにお渡しください。お忘れになった方は、机上に配付した返信用封筒でお送りいただければと思います。</p> <p>何かご質問等があればお願いします。</p>
委員	次回等もここでよろしいですか。
教育施設計画推進担当係長	次回も今のところはこちら、神明中の体育館で予定しているところです。また改めて、場所については通知に記載させていただきます。
委員	時間も同じですか。
教育施設計画推進担当係長	<p>時間は午後2時から4時を予定しております。</p> <p>6月24日（金）の2時から4時。</p>
進行役	<p>ほかにご質問等はありませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>連絡は以上でよろしいですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	以上です。
進行役	最後に、閉会に当たり、学校整備担当部長よりご挨拶があります。
学校整備担当部長	<p>皆さん、本日は大変熱いご議論を誠にありがとうございました。ちょうど13年前ぐらいでしたか、私はまだ課長でしたけれども、この体育館で皆さんのエネルギーを感じました。そのときを思い出しますね。本当にこの神明中をよくしたい、神明中の子どもたちのことをしっかりと考えていらっしゃるって、それが今日のご意見にたくさん出ていたなと思っています。</p> <p>基本方針の主なコンセプトがもうかなり出ているなと思っていて、今日戻ったら、録音していますからもう一度聞いてみて、今日のご意見、あるいはこの後いただける紙でもいろいろ書いていただけると思っていますので、その辺も含めてしっかりとまとめて6月24日、次回に臨んでいきたいと思っています。</p> <p>本当にいい学校ができるなという思いで、今はいっぱいでございます。これからもどうかよろしく願いをいたします。私からは以上です。</p>
進行役	<p>それでは、本日はこれで閉会といたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>